

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年7月15日
【四半期会計期間】	第21期第1四半期（自平成21年3月1日至平成21年5月31日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 敏志
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区蔵前四丁目33番7号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第20期
会計期間	自平成21年 3月1日 至平成21年 5月31日	自平成20年 3月1日 至平成21年 2月28日
売上高(千円)	2,353,822	9,264,322
経常利益又は 経常損失()(千円)	66,284	476,113
四半期純利益又は 当期純損失()(千円)	227,466	789,101
純資産額(千円)	1,869,870	1,665,819
総資産額(千円)	4,117,890	3,587,470
1株当たり純資産額(円)	225.40	200.73
1株当たり四半期純利益金額又は当期純損失金額()(円)	27.65	95.93
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	45.0	46.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	264,989	517,377
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	217,942	232,404
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	146,078	269,318
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	1,101,060	472,988
従業員数(人)	206	215

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第21期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第20期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年5月31日現在

従業員数（人）	206	(26)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員）は、当四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年5月31日現在

従業員数（人）	118	(-)
---------	-----	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、子会社(株)サンエス及び(株)ケー・ディー・システムへの出向社員67名は含んでおりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当社グループは独自の生産拠点・生産工程を所持しておらず、生産能力を表示することは困難であります。したがって、生産の状況についての記載はしておりません。

(2) 仕入の状況

当第1四半期連結会計期間における商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	前年同期比(%)
卸売事業(千円)	1,489,694	-
小売事業(千円)	161,704	-
合計(千円)	1,651,398	-

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売の状況

当第1四半期連結会計期間における商品販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	前年同期比(%)
卸売事業(千円)	2,034,921	-
小売事業(千円)	318,900	-
合計(千円)	2,353,822	-

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期は、企業収益低迷に伴う雇用調整や人件費抑制の動きが家計に波及し、個人消費は低迷を続け厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で当社グループの卸売事業は比較的堅調に推移しましたが、小売事業は前期中に不採算店を閉鎖し、前年同期比で3店舗減少したこと等により低迷し、売上高は2,353百万円となりましたが、グループ全体でコスト圧縮を進めた結果、営業利益は57百万円、経常利益は66百万円となりました。また、保険解約益等の発生により特別利益を177百万円計上したことにより、四半期純利益は227百万円となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門においては、多店舗展開するオペレーターへの販売を強化するため、これらのオペレーターには商品企画段階からの提案営業を推進しました。また、商品面では「まるねこくらぶ」をはじめとする当社のオリジナルキャラクターがヒットし、売上高の増加と利益率の改善に貢献しました。これらの要因により売上高は1,123百万円となりました。

S P部門においては、外食チェーン店のキャンペーン用商品や、雑誌の付録等が決まり、売上高は360百万円となりました。

物販業界向け販売部門においては、需要の低下による携帯電話関連グッズの落ち込みがあったものの、コンビニエンスストア向けのホビー商材や、キャラクターのインナーウェア等のバラエティ雑貨が好調であり、売上高は551百万円となりました。

以上の結果により、売上高は2,034百万円、営業利益は58百万円となりました。

小売事業

小売事業においては、平成21年4月末に不採算店の心齋橋店を閉店したため、店舗は広島本通り店と松山銀天街店の2店舗となりました（前第1四半期は6店舗）。

他方、閉店しました心齋橋店の地下1階で「NAKANUKIYA + on」という従来のナカヌキヤにおしゃれ感と値ごろ感をプラスした店を6月よりオープンすることが決まり、今後の店舗展開のモデル店となることが期待されています。

これらの要因により、売上高は318百万円、営業損失は1百万円となりました。

(2)財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ530百万円増加し、4,117百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額628百万円、受取手形及び売掛金の増加額143百万円、

保険積立金（投資その他の資産「その他」）の減少額95百万円であります。負債は前連結会計年度末に比べ326百万円増加し、2,248百万円となりました。これは主に買掛金の増加額156百万円、短期借入金の増加額150百万円によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ204百万円増加し、1,869百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額202百万円によるものであります。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて628百万円増加し、1,101百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、264百万円となりました。

これは主に、売上債権の増加額が143百万円及び保険解約益が106百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が243百万円及び仕入債務の増加額が156百万円あったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、217百万円となりました。

これは主に、保険積立金の解約による収入が242百万円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、146百万円となりました。

これは主に、短期借入金の増加額が150百万円あったことを反映したものであります。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年7月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,359,103	8,359,103	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	8,359,103	8,359,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成21年7月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

会社法に基づき発行した新株予約権は、次のとおりであります。

株主総会の決議日(平成18年5月23日)

	第1四半期会計期間末現在 (平成21年5月31日)
新株予約権の数(個)	605
新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)	-
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	60,500
新株予約権の行使時の払込金額(円)	705
新株予約権の行使期間	自平成20年6月1日 至平成22年2月28日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	発行価格 705 資本組入額 (注)
新株予約権の行使の条件	権利行使時においても当社の取締役、監査役、従業員または子会社取締役であることを要する。
新株予約権の譲渡に関する事項	譲渡、質入その他一切の処分をすることができない。 また、相続も認めない。
代用払込みに関する事項	-
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	-

(注)資本組入額については、新株予約権の付与を受ける対象者が新株予約権を行使した都度、新株発行についての取締役会を開催し、決定いたします。

株主総会の決議日（平成19年5月22日）

	第1四半期会計期間末現在 (平成21年5月31日)
新株予約権の数(個)	849
新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)	-
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	84,900
新株予約権の行使時の払込金額(円)	578
新株予約権の行使期間	自平成21年6月1日 至平成23年2月28日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	発行価格 578 資本組入額 289
新株予約権の行使の条件	権利行使時においても当社または当社子会社の取締役、監査役及び従業員であることを要する。
新株予約権の譲渡に関する事項	譲渡、質入その他一切の処分をすることができない、また、相続も認めない。
代用払込みに関する事項	-
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	-

株主総会の決議日（平成20年5月24日）

	第1四半期会計期間末現在 (平成21年5月31日)
新株予約権の数(個)	1,913
新株予約権のうち自己新株予約権の数(個)	-
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	191,300
新株予約権の行使時の払込金額(円)	293
新株予約権の行使期間	自平成22年6月1日 至平成24年2月29日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	発行価格 293 資本組入額 147
新株予約権の行使の条件	権利行使時においても当社または当社子会社の取締役、監査役及び従業員であることを要する。
新株予約権の譲渡に関する事項	譲渡、質入その他一切の処分をすることができない、また、相続も認めない。
代用払込みに関する事項	-
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	-

(3)【ライツプランの内容】
該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年3月1日 ～ 平成21年5月31日	-	8,359,103	-	440,948	-	471,887

(5) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成21年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

平成21年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 133,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,171,500	81,715	-
単元未満株式	普通株式 54,403	-	-
発行済株式総数	8,359,103	-	-
総株主の議決権	-	81,715	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成21年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対す る所有株式数の割合 (%)
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	133,200	-	133,200	1.59
計	-	133,200	-	133,200	1.59

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 3月	4月	5月
最高(円)	196	198	178
最低(円)	146	157	157

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間（平成21年3月1日から平成21年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101,060	472,988
受取手形及び売掛金	1,184,168	1,040,952
商品	406,380	483,636
繰延税金資産	18,494	9,952
その他	148,323	235,556
貸倒引当金	6,260	5,905
流動資産合計	2,852,166	2,237,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	539,422	538,778
減価償却累計額	174,388	170,501
建物及び構築物(純額)	365,033	368,277
車両運搬具	8,004	8,004
減価償却累計額	6,167	5,940
車両運搬具(純額)	1,837	2,064
その他	60,800	61,295
減価償却累計額	42,496	44,440
その他(純額)	18,304	16,855
土地	332,546	332,546
有形固定資産合計	717,720	719,743
無形固定資産		
無形固定資産合計	5,163	5,294
投資その他の資産		
投資有価証券	155,576	141,715
繰延税金資産	1,966	2,857
その他	405,476	499,503
貸倒引当金	20,179	18,824
投資その他の資産合計	542,839	625,251
固定資産合計	1,265,723	1,350,289
資産合計	4,117,890	3,587,470

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	968,713	812,573
短期借入金	820,000	670,000
未払法人税等	24,053	1,265
繰延税金負債	7,260	8,846
賞与引当金	84,836	41,006
その他	238,264	280,083
流動負債合計	2,143,128	1,813,776
固定負債		
退職給付引当金	100,654	103,268
その他	4,237	4,605
固定負債合計	104,891	107,874
負債合計	2,248,020	1,921,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	989,100	786,311
自己株式	50,999	50,995
株主資本合計	1,850,937	1,648,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,451	1
繰延ヘッジ損益	310	3,052
評価・換算差額等合計	3,140	3,054
新株予約権	15,792	14,613
純資産合計	1,869,870	1,665,819
負債純資産合計	4,117,890	3,587,470

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	2,353,822
売上原価	1,728,654
売上総利益	625,167
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	1,827
給料及び手当	194,743
賞与引当金繰入額	43,829
退職給付費用	3,627
その他	324,002
販売費及び一般管理費合計	568,029
営業利益	57,138
営業外収益	
受取利息	131
受取配当金	554
投資有価証券評価損戻入益	9,691
その他	3,007
営業外収益合計	13,385
営業外費用	
支払利息	2,684
その他	1,554
営業外費用合計	4,238
経常利益	66,284
特別利益	
保険解約返戻金	106,366
前期損益修正益	¹ 59,022
その他	11,835
特別利益合計	177,224
特別損失	
固定資産売却損	² 36
特別損失合計	36
税金等調整前四半期純利益	243,472
法人税、住民税及び事業税	23,656
法人税等調整額	7,651
法人税等合計	16,005
四半期純利益	227,466

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成21年3月1日
至平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	243,472
賞与引当金の増減額(は減少)	43,829
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,710
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,613
受取利息及び受取配当金	686
支払利息	2,684
投資有価証券評価損戻入益	9,691
保険解約損益(は益)	106,366
売上債権の増減額(は増加)	143,251
たな卸資産の増減額(は増加)	77,255
仕入債務の増減額(は減少)	156,139
その他	6,212
小計	268,695
利息及び配当金の受取額	773
利息の支払額	2,579
法人税等の支払額	1,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,989
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	15,534
保険積立金の解約による収入	242,409
その他	8,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	150,000
自己株式の取得による支出	4
配当金の支払額	3,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	146,078
現金及び現金同等物に係る換算差額	938
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	628,072
現金及び現金同等物の期首残高	472,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,101,060

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>棚卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来より当社及び連結子会社2社は総平均法(月次)による原価法を採用し、(株)ナカヌキヤは主として先入先出法による原価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、次のように変更しております。</p> <p>当社及び連結子会社2社</p> <p>総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)</p> <p>(株)ナカヌキヤ</p> <p>主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)</p> <p>なお、この変更による損益及びセグメントに与える影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末 (平成21年2月28日)
<p>四半期連結会計期間末日満期手形</p> <p>四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <p>受取手形 28,024千円</p>	<p>連結会計年度末日満期手形</p> <p>連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれております。</p> <p>受取手形 14,804千円</p>

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
<p>1 特別利益の前期損益修正益は、(株)ナカヌキヤの店舗撤退費用として前連結会計年度に計上していた店舗閉鎖損失の一部の戻入額であります。</p> <p>2 固定資産売却損の内訳は次のとおりであります。</p> <p>工具、器具及び備品 36千円</p> <p>[有形固定資産(その他)]</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年5月31日現在)</p> <p>現金及び預金勘定 1,101,060千円</p> <p>現金及び現金同等物 1,101,060千円</p>

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 8,359,103株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 133,275株

3. 新株予約権等に関する事項

ストック・オプションとしての新株予約権

新株予約権の四半期連結会計期間末残高 親会社 15,792千円

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月23日 定時株主総会	普通株式	24,677	3	平成21年2月28日	平成21年5月25日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,034,921	318,900	2,353,822	-	2,353,822
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,510	-	3,510	(3,510)	-
計	2,038,432	318,900	2,357,332	(3,510)	2,353,822
営業利益又は営業損失()	58,309	1,897	56,411	726	57,138

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売及び電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(有価証券関係)

前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(ストック・オプション等関係)

前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 5 月31日)		前連結会計年度末 (平成21年 2 月28日)	
1 株当たり純資産額	225.40円	1 株当たり純資産額	200.73円

2 . 1 株当たり四半期純利益金額等

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 3 月 1 日 至 平成21年 5 月31日)	
1 株当たり四半期純利益金額	27.65円

(注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 . 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 3 月 1 日 至 平成21年 5 月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	
四半期純利益 (千円)	227,466
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	227,466
期中平均株式数 (株)	8,225,831
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年7月13日

株式会社エスケイジャパン
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村幸彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋康介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケイジャパンの平成21年3月1日から平成22年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成21年3月1日から平成21年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケイジャパン及び連結子会社の平成21年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。